



夏休みには、いろいろな楽しいことが計画されていると思います。ちょっと身の回りの自然に目を向けてみませんか。「あれ、なんだろう?」「おもしろいな。どうしてだろう。」と思うことがたくさんあると思います。こんなぎもんなどをもとに調べてみるのが自由研究です。

さあ、みなさんも『ミニはかせ』になって研究してみましょう!

1 研究のまとめ方

理科の自由研究では、集めたり、育てたり、工作をした実物や記入した記録が研究の結果になります。発表をするときには、記録をもとに研究の様子をまとめたり、大きめの模型を作ってみたりして見る人に分かりやすい発表をしましょう。

また、「まとめ方の例」参考にして、いくつかのまとまりにすると分かりやすくなります。

○まとめ方の例

テーマ「〇〇の研究」

〇年〇組 名前

- 1 **研究する理由**

ぎもん に思ったきっかけを書きます。ふだんの生活の中で不思議に思っていたこと、学習をして考えたことなど、自分が素直に思った気持ちを入れて書くとよいです。
- 2 **調べること (内容・方法・道具)**

◎見た人が同じ実験や調査ができるように研究の内容を説明します

 - ・ぎもん を解決するために何を調べるのか
 - ・どのような手順で実験や観察をするのか
 - ・実験や観察で使った物を書く
- 3 **予想**

調べることに對して観察や実験を行う前に、この後の結果が「こうなるだろう」とあらかじめ考えておきます。予想と結果を比べると、新しいことに気づいたり、次に調べてみたいことが見つかったりします
- 4 **研究の結果**

起こった出来事や見たものなどの事実だけを書きます。
ひと目でわかるように図や表にしたり、写真などを使ったりするとよいです
- 5 **結果からわかったこと・考えたこと**

◎実験や観察をして結果から見つけたことや、わかることを考えて書く。

 - ・はじめに思った予想と同じかちがうか
 - ・結果がぎもん の解決につながっているか
 - ・新たに見つけたことはなにか
- 6 **感想**
 - ・研究をとおして思ったこと
 - ・生活にどのようにいかせるか
 - ・次に調べてみたいこと など

※令和7年度 第5回さいたま市児童生徒科学教育振興展覧会（理科展）の出展形式は

以下の通りです。

- A4用紙8ページ以内でまとめます。
- 学校名、氏名、学年を明記してください。
- 写真やデータの重ね張りはできません。
- 埼玉県理科教育研究会のHPにも「研究のまとめ方」があるので参考にしてください。